

◆第77年度 第1回教宣委員会

11月19日、13時30分からホテルマリナーズコート東京で、第77年度第1回教宣委員会を開催した。はじめに事務局より教宣委員の出欠をとり、本委員会が成立していることを確認し議事に入った

第76年度広報室の活動について

活動の状況を事務局から報告し、その後、各委員からの質問・意見を整理した。

- ①「船員しんぶん」の発行状況
- ②月刊「海員」の発行状況
- ③メールニュース「海員だより」送信状況
- ④海員スポーツイベント
- ⑤海員年度賞
- ⑥海上美術展
- ⑦囲碁・将棋大会
- ⑧海洋人の会

教育研修関係について

総務局から、第76年度の教育研修はコロナ禍の影響で実施できなかったとの報告があり、第77年度については、

- ①新任執行部研修
- ②新任職場委員研修
- ③中央コミスク
- ④地方コミスク

それぞれについて研修を実施する前提で準備を進めているが、最終的には新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて判断することになると説明した。

月刊「海員」の特集のテーマについて意見交換

- 「海員」特集記事のテーマなどについての意見交換では、各委員から次の意見・要望があった。
- ▽外航部門や国内部門の中央の労働協約書の特集を組んでほしい。各種手当の成り立ちや歴史の特集があると、現場組合員や新任の職場委員が理解しやすい。
 - ▽水産系・海洋系高校の特集は素晴らしいが、商船高専や商船系大学の特集も企画してほしい。
 - ▽本部会館のリニューアルについて、作業が始まったら「船員しんぶん」で進捗状況を伝えてほしい。
 - ▽外航部門での海賊問題の特集、水産部門での商業捕鯨の特集、国内部門でのカボタージュ問題の特集などを掲載すれば、若手の乗組員も、組合の対応や活動が理解できる。
 - ▽女性船員の増加につながる特集を企画してほしい。

これら各委員からの意見を取りまとめ、16時に教宣委員会を終了した。

「海員だより」